

洞林寺護持会会報

錦 糺

令和五年春彼岸号(通算163号)



洞林寺境内桜

徳川家康を支えた僧侶たち

洞林寺住職 吉田 俊 英

1、南光坊天海と金地院崇伝

大河ドラマ『どうする家康』はなかなかぶつとんだドラマ造りをしているようです。徳川家康は幼少期青年期を織田家今川家の人質として過した苦勞人でした。苦難の時を堅忍不拔に生抜き、大大名になった後は豊臣家と諸大名相手に果敢に立ち回った老獪さは広く知られています。

松本潤演じる青年期の家康は決断力を欠き、行動力も乏しい人物として描かれている。生まれながらに優れた武将などいませ

ん。鍛錬を重ね、学問を深め、多くの修羅場を経験してこそ、名将への成長が有り得るのだろう。ヘタレな青年家康がどう狸爺に成長していくか、楽しみたい。

ドラマの進展の中で、家康は今後も多くの苦難に直面し、苦しい判断を強いられることになるでしょう。姉川の戦い、一向一揆、三方が原の戦い、長篠の戦い、高天神城の戦い、築山殿信康事件、本能寺の変、小牧長久手の戦い、関ヶ原の戦い等々。

第二回放送では、三河松平家菩提寺である浄土宗大樹寺の住職を里見浩太郎が演じて居ました。岡崎市の大樹寺は家康の祖父松平清康と父松平弘忠の菩提所です。

家康を支えた僧侶としては、

江戸の幕府を開いた家康のブレンとして活躍した南光坊天海と金地院崇伝が有名です。時代劇では、古狸家康の相談役として登場することも多い僧侶です。天海は家康の信頼厚く、家康滅後の「東照大権現号」や東照宮造営の中心を担ったことで有名です。崇伝は明や朝鮮東南アジア諸国との交易、西欧諸国との接触、外交文書の起草や朱



2、可睡齋と等膳和尚

曹洞宗の寺院で徳川家との縁が深いことで知られているのが、静岡県袋井市にある万松山可睡齋です。寺紋は徳川家と同じ三つ葉葵を使用しており、現在の本堂の大屋根の左右に大きな三つ葉葵があります。可睡齋という寺の由来について、次のような逸話があります。

十一代住職仙麟等膳大和尚は幼い家康を戦乱から救ったことがあり、後に家康が浜松城主となった折、報恩の為に城に招かれた。その席でコックリコックリ居眠りを始めました。その姿を見た家康は和尚の安らかな親愛の心を悟り、和尚に「睡る可し」（御前にて睡っても無礼ではないとの意）と言い、「可睡和尚」と愛称せられ、寺号も東陽軒から可睡齋と改めた。



可睡斎本堂

残念ながら、これは後世の作り話のようです。徳川家康誕生前に「可睡斎」という寺号を使用していた記録があるそうです。家康は今川家の人質であった時期、駿府城下の臨濟寺に預けられ、その近くの増善寺の知客（受付や接待の責任者）を勤めていた等膳和尚とも親交があったそうです。等膳和尚が脚光を浴びる前提として、徳川家を揺るがした「信康事件」があります。

家康の正室築山殿と嫡男信康は織田信長から「武田勝頼と内通した」という嫌疑をかけられ、信長は家康に兩名の処分を命じ、家康はやむをえず天正七（一五七九）年八月築山殿を処刑し、九月信康に切腹を命じ信康は自害しました。

いかに信長の命であったとは言え、兩名を処刑することは家康にとって辛かったことは明らかです。家康にとって大きなトラウマとなったと思います。

浜松城で家康は築山殿の怨霊に苦しめられていました。家康は可睡斎の等膳和尚に怪鬼の調伏を命じました。等膳和尚が弟子の禅易と宋山を伴い浜松城に赴き、家康の寝所に留まり禅定修法を勤め菩薩戒を授け血脈を与えると、築山殿の怨霊は調伏されました。以後、家康の等膳和尚への帰依は一層高まったそうです。等膳和尚の恩義に報いるためでしょうか、天正十一（一五八三）年十一月、家康は可睡斎隠居等膳を駿河・遠江・三河・伊豆の曹洞宗寺院を取り締まる僧祿に任じております。

ドラマ中に等膳和尚が登場するかどうかはわかりません。有村架純さん演じる築山殿がどういふ怨霊に変貌するか、興味深いところです。

佐藤家継統

先祖
市郎兵衛

一寶名日記不詳
一越後長人、テ
一伊達政宗、世即職方役人、彼口出御初米前西御杖持
方、伊達政宗、被置御番所、御當口被、御年同早、小僧、
道、政宗、御年、被置、被置、被置、被置、被置、被置、
御後、御年、御年、御年、御年、御年、御年、御年、御年、
一寶名、母、性、名、詳、不、詳、
一某、羅、門、公、詳、不、詳、
一寛文五年十月十日、
佐藤家系図

彼岸に思う

護持会副会長 佐藤泰憲

1、御先祖の記録

家系図？突然言われても普通はピンと来ないのではないだろうか。古いお宅なら仏壇の引き出しとか裏を探せとなるのだろうが、立て直したとかマンションに越したと

佐藤家の家系図

なると探しようがない。更には、新しく当地に家を構えたとなると最初から無いのである。

もう二十五年以上前の事になるが、父が亡くなり葬儀の際に親戚のおじさんから「家系図を出して見せて」と言われ皆で探し私も恥ずかしながらその時初めて、我が家のそれを、仏壇の裏の奥の書庫に在るのを見つけて、見入った事を覚えている。

先祖は越後浪人だったが、伊達政宗に取り立てられ、役宅を賜り、寛文五年に隠居したと書かれていた。屋敷近辺は明治初期の仙台市街図にも区割りがそのまま在り、私も五十年前までは住んでいた。家計図は巻物になっており、最後は祖母の代で終わっていた。一人一人の出生、経歴、洞林寺に何時葬られたかまで記載があるが、毛筆の達筆で余り判読出来ず、誰が何代目かも判らない。その後は大事に元の場所に返し家族にはその場所を伝えました。

何年前か前のこと、当家から他に出た親戚の老いた叔父さんが訪ねて来て、自分のルーツを調べていて本家の家計図と照合したいと申し入れがあり、二人で調べ、祖母の代で終わっていた後の系図が繋がりが嬉しく安心した事がある。又、十年前、妻の父

の葬式で、むこうの実家に行った時に本家筋ということもあり、多くの親戚が集まり、誰がどの人なのかと困ったところ、娘と姪が当時学生だったが、皆に聞きながら、集まった人達の兄弟親戚夫婦、亡くなっていた叔父伯母等の関係を即席の系図で作りに上げた事が今でも役立っている。

彼岸のとき、家族や親戚同士で墓前に手を合わせるが、自分の先祖を辿り敬い、次代に伝えていく役目を

今の我々が担わなければなりません。墓閉いなどが話題になる時代だからこそ、大切ではないでしょうか。何も巻物状でなくても、パソコンやスマホのアプリで作れます。カルチャー教室もあります。お寺さん、住職さんに相談したり、過去帳等を当たるなどで、自分の先祖を見つめ直し、先祖の事績を伝承していく、よい機会なのではないでしょうか。

自然災害が続く昨今です。ご先祖さんも今の我々以上の苦難の中を生き抜いて来られたと思います。ご先祖さんが辿ってきた軌跡を知り、改めて家族の大切さを肝に銘じ、家族の絆を深める機会ともなると思います。



奈良東北のみほとけ展

2、仏像の素晴らしさ

仏像は、造形の素晴らしさとともに、深い精神性を備え厳かな気持ちを与えてくれます。時間と金が無いので、遠方には行けません。京都市や東北近辺には足を運びます。来た際には見逃さないようにしています。

今般、四月十五日から約二ヶ月、東北歴史博物館で『奈良・東北のみほとけ展』が開催されます。私的には、奈良のは勿論、東北屈指の仏像の里である会津勝常寺の国宝級の仏像に会えるのが楽しみです。

「学び続けること」

社会保険労務士 澤 田 裕 一

厚生労働省が二月に発表した昨年の毎月勤労統計調査によると、物価の影響を考慮した実質賃金は前年比0.9%減でした。これに対して賃金の実質水準を算出する指標となる物価は3%上昇と賃金の伸びを上回りました。つまり賃金上昇率が物価上昇率に負けた形となっていました。

今年の年始、首相は「インフレ率を超える賃上げの実現をお願いしたい」と言っており、企業に対して物価上昇分を超える賃上げを要請したのですが、企業としては「成長なくして賃上げなし」と考えているのが大多数です。「企業の成長」とはなんでしょうか。「企業の成長」を因数分解すると、それは「人の成長」と考えています。

「人的資本経営」という考え方があります。「人的資本経営」とは、企業や組織で働く人財を資本のひとつとして認識して、人財価値を最大限に引き出すことによって中長期的な企業価値を高めていく考え方にあります。優秀な人財の育成には時間的・金銭的コストがかかりますが、人財を資本のひとつとして考えた場合、人財育成にか

かる費用はコストではなく投資と考えることができます。

人財育成には「リスクリング」が必要になります。「リスクリング」とは、変化に対応する為、必要とされる新しい知識やスキルを学ぶことです。このリスクリングに対応できない人は、結果として変化に対応できずに淘汰されていくでしょう。進化論で有名なダーウインの名言にあるように。

いつの時代も、強い者、賢い者が生き残るのではなく、変化できる者が生き残るのことができます。

高齢者雇用安定法の改正により企業には労働者に対して七十歳までの就業機会確保の努力義務が課されました。「七十歳まで働くのは厳しい」とお考えの諸先輩も多いとは思いますが、今は人生百年時代。それぞれのライフステージで生き活きと楽しく生きていく為に、学び続ける事は大切だと考えます。

最後に、私の好きなサミュエル・ウルマンの詩を紹介させていただきます。

青春とは人生の或る期間を言うのではなく、心のもち方を言う。

薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな手



詩人 サミュエル・ウルマン

足ではなく、たくましい意志、豊かな想像力、燃える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さを言う。青春とは臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味する。

ときには、二十歳の青年よりも六十歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いる。

歳月は皮膚にしわを増すが、熱情は、失えば心はしほむ。

苦悶や・恐怖・失望により気力は地に這い精神は芥にある。

六十歳であろうと十六歳であろうと人

の胸には、脅威に魅かれる心、幼子の
ような未知への探究心、人生への興味
の歓喜がある。

君にも吾にも見えざる駒通が心にある。
人から神から美・希望・喜び・勇氣・
力の靈感を受ける限り君は若い。

靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわ
れ、悲嘆の氷に閉ざされるとき、二十
歳であろうと人は老いる。

頭を高く上げ希望の波をとらえる限
り、八十歳であろうと人は青春にして
已む。

仏教にとって大事な三仏忌さんぶつぎ

洞林寺副住職 吉田彦英

洞林寺は仏教の中でも曹洞宗そうどうしゅうという仏教
教団に属しています。曹洞宗以外の教団で
すと阿弥陀仏を信仰し「ナンマンダ、ナン
マンダ」と唱える浄土宗・宮城県では松島
瑞巖寺の臨済宗・踊り念仏を行う時宗・お
題目を唱える日蓮宗。等々：日本では様々
な仏教教団が存在しその中でも様々な宗派
が存在しています。

様々な仏教教団がありますがその根幹と
なっているのは、仏教を開いたお釈迦様の

存在です。

仏教ではお釈迦様のご誕生・お悟り・ご
命日をそれぞれ「降誕会こうたんえ」「成道会じょうどうえ」「涅槃
会ねはんえ」と規定し三仏忌と呼んでいます。

・降誕会

四月八日はお釈迦様のお誕生日です。別
名花祭りとも言われています。我々も誕生
日も祝うように花を飾り、甘露の雨が降つ
たと言われることから甘茶を用意します。
洞林寺では本堂須弥壇前に花御堂を設置
し、お釈迦様の誕生佛像に甘茶をかけお経
を唱え誕生を御祝いたします。また本堂
正面にも象の置物上に誕生佛像を安置して
いますので、本堂内でも外でも甘茶をかけ
ることが出来ます。

・成道会

十二月八日はお釈迦様が修行に励むなか
で仏教の真髄、真理を悟った日と言われ
ています。

洞林寺では修行に励まれ髭や髪伸びた
お釈迦様の仏像を安置し、お悟りの遺徳を
讃える法要をお勤めします。

◎原稿募集

皆様のお便りをお待ちしております。



誕生佛を安置した花御堂



本堂前にて自由に甘茶を
かけることができます

・涅槃会

二月十五日はお釈迦様が老亡くなり
なった日と言われています。病床に臥すお
釈迦様の周りに弟子達の他に、動物達や虫
といった生きとし生けるものも集まり見
守ったと言われています。その様子を描い
た絵を涅槃図と言います。洞林寺では皆様

身近かなニュース、心境などどうぞ
お寄せ下さい。

が故人様の御法事をお勤めするように、涅槃図前にてお釈迦様の御供養のお勤めをいたします。

涅槃図は毎年二月いっぱいまで本堂東側に掛けておりますので、お参りの際は是非お立ち寄りいただきご覧ください。

三仏忌を通し我々人間誰しもが生活していくうえの節目というものに向き合い、檀信徒の皆様方がより良い生活を過ごしていただけるようお願いしております。そのような



涅槃会本堂内での読経の様子

気づきの場としての洞林寺となるように、我々も努めて参りますよろしくお願い申し上げます。

永平寺修行回想記 其の二十二

洞林寺副住職 吉田彦英

・侍真寮公務中明け

一週間の公務中期間、へろへろになりながら公務帳を覚え、作法を体で覚え相方と公務点検の日を迎えました。公務点検の際、寮長の供真和尚さんに「ごめんください、侍真寮公務中の彦英ですが侍真寮公務点検よろしくお願いいたします。」と口上を述べます。

公務点検は三八日の当番公務になります。

一週間で覚えたこと自分のベストをどうにか出しきり供真和尚さんに指摘はたくさん貰いましたが、致命的なミスは無かったです。正式に侍真寮の一員となることができました。

侍真寮の食事

侍真寮での食事の時間は全寮舎の中で一

番短いです。食事の時間ですが五分以内で食べるようにというお達しがありました。最初五分以内で食べ終わるなんて無理なのは…と思いました。しかし先転役の者達を見るとほぼご飯を食べずにかき込むようにしていました。私は普段しっかり噛んで食事をするタイプだったので衝撃的な光景でした。

何故そこまで短時間にこだわるかというと、侍真寮で一人前と認められるまで空き時間はひたすらに馴らし（法要進退を修得すること）をしなければならぬからです。

侍真寮では公務や法要進退を一人前と認められると「長単牌」というものが与えられます。

通称「長単」これが一種のステータスとして永平寺山内で重要な要素であり、この称号を持つことで一目置かれる存在になります。

また、大庫院から持ってくる食事以外にも御上壇にお供えしたご飯も侍真寮員が食べなければなりません。道元禪師や歴代住職にお供えしたものですから、捨てるわけにはいきません。ただとんでも無い量なので、有難いと思いつつ味噌汁や水で流し込

むようにしなければならぬ大変な時間でした。

・長当

前述した長単ですが月二回の試験が行われます。毎月二十八、九日にお勤めする高祖大師月忌献湯・献供、毎月二十三、四日にお勤めする二祖国師月忌献湯・献供の法要が対象となります。献湯がお速夜の法要、献供が本法要になります。

高祖大師とは道元禅師様、二祖国師は永平寺二世孤雲懷奘禅師様です。

長当は長単当番公務のことを言います。前号で紹介した三八清掃と当番公務、法要での三方出しが試験において重要視さ



供真和尚に書いてもらった長単牌

れます。

長当になると清掃や準備に普段より厳しい供真和尚さんチェックが入るので、夜中の十二時から自主的に公務を始めます。

夜中の点検で回る人にも稀に遭遇することもあるそうで、「長当なんです。」と言うと理解し「こんな時間から大変だなあ頑張れよ。」とみな応援してくれるそうです。

普段なら寮員も余裕があれば当番のお手伝いのできるのですが、試験なので手を貸すのも禁止です。

長当の者は一日中御供所にこもります。三八清掃以外はひたすらに御供所の清掃です。三八清掃、食事、法要に出るとき以外は下に降りてはいけぬ決まりになっています。

ちょっととした可哀そうなお話なのですが、私と同期の者がこの長当になった時、なんと当日寝坊してしまいました。慌てた様子で私も起こされ、手伝いできる所はやってあげました。ただその寝坊のせいで勿論試験は不合格。夜開枕鈴が鳴るまで試験なのに、朝一番から絶望的な気持ちで夜までやりこなさなければいけないことに絶望の表情になっていました。私よりセンスもあり飲み込みも早い出来る和尚だった

ので、こんなことをするなんて珍しいというか…なぜこんな日にやってしまったんだと思つたと同時に私も自分の番の際は気をつけようと改めて思いました。その後相方は再試験を行い無事長単試験を合格ができました。長単を渡されている様子を私は羨ましく感じ、自分ももっと頑張らねばという気持ちが芽生えました。

(次回に続きます。)



回向双紙を載せる三方長当で法要での三方出しに合否の命運がかかっている

ブラジルの方々とのご縁を繋ぐ

洞林寺寺族 吉田 ふく子

二月五日、またまたブラジルからのJICA支援日系介護研修の研修生の方々も洞林寺に来られました。以前は、年一回だったのが、去年の七月、十一月、そしてこの二月と結構続きます。新型コロナウイルス感染防止のため、日本もブラジルも水際対策が実施され、海外渡航が丸二年以上禁止状態だったと思います。渡航禁止が解除さ



れ、延期されていた研修を続けて実施しているのかもしれませんが。

日系介護研修を実施している「ゆらリズム」の担当者である菊地さんから一月下旬に「二月五日から仙台でJICAの介護研修のため、ブラジルから研修生が来ます。今回もお伺いしてさせていただいて宜しいでしょうか?」「今回、十九人と多いので、お位牌をお参りさせていただくだけでも結構です。」という連絡が有りました。

ちよつと多い人数ですが、以前ブラジル宮城県人会が東北夏祭りを巡るツアーで来日し松島と仙台を観光した時にも二十人ほどのブラジル人が洞林寺に御寄り頂いたこともありました。娘たちがお抹茶を点て、孫たちがお茶出ししてくれば、何とか「おもてなし」出来るかもしれません。家族の都合を確認して、二月五日の研修終了後に来ていただくことにしました。

二階の会館のテーブルにあらかじめ和菓子と並べ、到着した方から順にお茶を飲んでもらい、洞林寺とブラジルとの御縁を説明し通訳していただきました。研修生一同からブラジルのお菓子をお土産にいただきました。ブラジル宮城県人会、ローザ由香教授からもいただきました。



本堂でお焼香していただきました

その後、本堂に移動し、本尊様と『海外移住物故者諸精霊』そして釋迦涅槃図にお参りしていただき、「宮城県海外移住家族会が海外移住で亡くなられた方々のために慰霊祭をしてきた。」ことなどを説明しました。

洞林寺から千支の絵馬と花のお菓子、私を買っておいた日本の風景の一筆箋をお土産に差し上げました。

ささやかですが、家族みんなで「おもてなし」致しました。きつと先住も喜んで下さっていると思います。日本とブラジルの草の根の友好交流として今後も続けていければいいなあ、と思っております。

令和4年度護持会会計決算書（案）

自 令和4年1月1日
至 令和4年12月31日

収 入

項 目	予 算 額	収入済額	増 減 額	摘 要
	円	円	円	
1. 会 費	5,499,000	5,520,000	21,000	(イ)洞林寺境内墓地 306名×15,000円＝ 4,590,000円 (ロ)洞林寺葛岡墓地 10名×15,000円＝ 150,000円 (ハ)お骨預かり 10名×15,000円＝ 150,000円 (ニ)他管理墓地 27名×12,000円＝ 324,000円 (ホ)他管理墓地で位牌堂使用 5名×15,000円＝ 75,000円 (ヘ)信 者 8名×12,000円＝ 96,000円 (ト)過 年 度 分 5名 = 135,000円
2. 特別会費	50,000	220,000	170,000	永代供養塔使用者への連絡経費等のため、特別会費（年額5,000円）を前もって納入していただく。
3. 雑 収 入	2,319	25	△ 2,294	預金利子
4. 助 成 金	50,000	0	△ 50,000	法人会計（会館営繕志納金）よりの助成金
5. 繰 越 金	2,008,681	2,008,681	0	令和3年度繰越金
合 計	7,610,000	7,748,706	138,706	

※他管理墓地とは、葛岡・北山・泉の市民墓地および宮城霊園等、洞林寺以外が管理する墓地のことです。

支 出

項 目	予 算 額			支出済額	残 高	摘 要
	当 初	更 正	現 額			
	円	円	円	円	円	
1. 賦 課 金	720,000	△ 34,410	685,590	685,590	0	宗費（宗務庁） 507,190円 宗務所費 149,000円 教区営繕基金等 29,400円
2. 清 掃 費	1,250,000	5,750	1,255,750	1,255,750	0	①境内墓地清掃費 620,000円 ②洞林寺葛岡墓地清掃費 200,000円 ③本堂 位牌堂 会館等清掃費 391,800円 ④他 清掃費用 43,950円
3. 境内整備費	720,000	△ 5,000	715,000	715,000	0	境内 墓地 植木剪定費
4. 施設運営費	2,700,000	50,000	2,750,000	2,750,000	0	壁補修塗装 山門改修駐車場整備
5. 会 議 費	100,000	△ 47,150	52,850	52,850	0	生花 34,100円 供物 菓子 11,742円 お茶等飲物 7,008円
6. 会報制作費	450,000	△ 87,407	362,593	362,593	0	護持会会報印刷代 318,340円 会報 送料 44,253円
7. 火災保険料	180,000	6,920	186,920	186,920	0	本堂 位牌堂 不動堂 118,220円 庫裡会館 68,700円
8. 月 牌 料	700,000	0	700,000	700,000	0	令和4年度檀信徒先祖供養料
9. 教 化 費	120,000	△ 26,638	93,362	93,362	0	お線香代 44,000円 春彼岸施本（仏教すくーる） 41,606円 新入学児童お祝い品と送料 7,756円
10. 事 務 費	100,000	44,473	144,473	144,473	0	通信費（はがき切手郵送料等） 89,968 送金手数料 1,100 事務用品（チラシのり 封筒等） 53,405
11. 大本山総持寺大遠忌寄付金	120,000	0	120,000	120,000	0	大本山総持寺大遠忌局 完納
12. 積 立 金	50,000	170,000	220,000	220,000	0	特別会費として積み立て
13. 別途積立金	300,000	△ 300,000	0	0	0	
14. 予 備 費	100,000	362,168	462,168	0	462,168	
合 計	7,610,000	138,706	7,748,706	7,286,538		

収入額 7,748,706円 - 支出額 7,286,538円 = 繰越金 462,168円

※積立金 前年度までの特別会費分 395,000円 令和4年度特別積立金 220,000円 合計 615,000円
別途積立金 200,000円（令和5年の護持会50周年記念式典のため）

令和5年1月28日

諸帳簿ならびに領収書を精査した結果、厳正に処理されていることを確認致しました。

監事 吉 田 正 一 印
監事 菅 原 啓 夫 印
監事 福 島 正 孝 印

令和5年度護持会会計予算（案）

自 令和5年1月1日
至 令和5年12月31日

収 入

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増 減 額	摘 要
1. 会 費	5,385,000	5,520,000	△ 135,000	(イ)洞林寺境内墓地 306名× 15,000円= 4,590,000円 (ロ)洞林寺葛岡墓地 10名× 15,000円= 150,000円 (ハ)お骨預かり 10名× 15,000円= 150,000円 (ニ)他管理墓地 27名× 12,000円= 324,000円 (ホ)他管理墓地で位牌堂使用 5名× 15,000円= 75,000円 (ヘ)信 者 8名× 12,000円= 96,000円
2. 護持会特別会費	100,000	220,000	△ 120,000	永代供養塔使用者から頂く護持会費
3. 雑 収 入	2,832	25	2,807	預金利子等
4. 助 成 金	50,000	0	50,000	宗教法人会計（会館管轄志納金）より
5. 繰 入 金	200,000	0	200,000	護持会50周年記念式典 別途積立金より繰り入れ
6. 繰 越 金	462,168	2,008,681	△ 1,546,513	令和4年度繰越金
合 計	6,200,000	7,748,706	△ 1,548,706	

支 出

項 目	本年度予算額	前年度決算額	増 減 額	摘 要
1. 賦 課 金	750,000	685,590	64,410	宗費（宗務庁）、宗務所費、第2教区護持会会費
2. 清 掃 費	1,300,000	1,255,750	44,250	墓地・境内、清掃、本堂位牌堂・庫裡会館 清掃
3. 境内整備費	750,000	715,000	35,000	境内庭木剪定、消毒
4. 施設運営費	1,200,000	2,750,000	△ 1,550,000	駐車場白線補修、本堂畳改修
5. 会 議 費	100,000	52,850	47,150	総会資料 彼岸法要供物等
6. 会報制作費	450,000	362,593	87,407	会報印刷代 送料等
7. 火災保険料	200,000	186,920	13,080	本堂・位牌堂・書院、庫裡会館 火災保険
8. 月 牌 料	700,000	700,000	0	檀信徒先祖供養
9. 教 化 費	100,000	93,362	6,638	施本、新入学児童記念品
10. 事 務 費	150,000	144,473	5,527	封筒、往復はがき、郵送料、事務用品
11. 総持寺大遠忌寄付	0	120,000	△ 120,000	令和4年度で完納
12. 護持会50周年記念	300,000	0	300,000	記念品、記念品送料
13. 積 立 金	100,000	220,000	△ 120,000	護持会特別会費を将来のために積立てる
14. 別 途 積 立 金	0	0	0	護持会創立50周年（令和5年）記念式典 積立
15. 予 備 費	100,000	462,168	△ 362,168	
合 計	6,200,000	7,748,706	△ 1,548,706	

令和四年度 活動報告

1. 1 元朝先祖参り
- 3 三朝祈禱 檀信徒各家安祥祈願
2. 15 涅槃会
3. 21 春彼岸法要

護持会総会は議案資料郵送、返信
ハガキで議決

新入学児童お祝式は記念品発送を
以て替える

4. 8 花祭り（降誕会）
8. 12 盆塔祭
9. 23 秋彼岸法要
10. 14 婦人会総会
12. 2 総代会
12. 31 成道会

令和五年度 活動計画

- 一、三朝祈禱
- 一、春彼岸法要

護持会総会は議案資料郵送、返信ハガキで議決
新入学児童お祝式は記念品発送に替える

- 一、菅谷不動尊祭典
- 一、盆塔祭
- 一、秋彼岸法要
- 一、護持会創立五十周年記念式典
- 一、除夜の鐘

懐かしの昭和の記憶シリーズ No.5

青葉通り宮城酪農軽食喫茶

【ミルクスタンド】

青葉区 伊藤 眞一郎

戦後まだまだ街中の暗い夜空に一際明るく珍しいネオンサインが輝いていて、新しい市民の憩いの場だったミルクスタンド。昭和三十年頃青葉通り藤崎の向かいにオープン。当時としては珍しい鉄筋コンクリート造の近代的なビル。二階はお洒落な吹き抜けで、トースト、コッペパン、新鮮な牛乳、ミルクカレー、各種パフェ、ソフトクリームなどを提供していた。子供の頃に手を引かれ生まれて初めて食したサンドウィッチの美味しさとカルチャーシヨックは今も記憶に新しい。



在りし日のミルクスタンド

近くには大映や青葉劇場と言う映画館があり、映画を観た後ここで食事するのが仙台市民のトレンドイだった。

「懐かしの昭和の記憶シリーズ」今後も連載お届け致しますが、皆様の中では非これは披露したいと言う当時の貴重なお写真お話しお持ちでしたらご一報頂ければ幸いです！

あとがき

佐藤 泰 憲

◇「まんず、真っ先に咲く」と云われるマンスクが黄色い花を枝先に咲かせ、足元には、セリバオーレン、カタクリが彩り、蕨、タラの芽、コシアブラが待っている。雪が溶け里山、低山歩きが好きな筆者には、待つていた季節である。

◇これに備えて、先月と今月は、MRI、ポリプ内視鏡検査、胃カメラ、特定検診、免許証更新を集中して受診して、全て指導の必要なしの結果を頂いた。

後期高齢者に入ると、体力、気力をどう維持するかが大事になってきます。最近は何れも予防なる言葉が聞かれ、高齢者の

身心の健康維持が各所で訴えられています。持続力、忍耐力、視力、聴力を低下させず、毎日の生活に取り組みうと気持ちを切り替えて暮らしていこうと思っています。

◇今年の彼岸供養も、護持会総会も皆が集まらず、揃っての活動が中々出来ません。マスク解除？制限の緩和の流れも見られず。今まではコロナ禍で皆が揃ってお経を唱える事が出来ませんでした。今夏のお盆の供養には是非皆で一緒にお経を唱えられるようになって欲しい。皆が一緒になって御先祖のために読経する。そういう先祖供養の行事に戻ってもらいたいです。◇筆者には、春の次は、白い雲、高山植物の夏山が楽しみです。前述の体力、気力を維持するように、一日一日を過ごしたいと思います。

